

## 授業記録分析表

資料名	花子さんの七夕さま (ゆたかな心)	内容項目	2-(2) 思いやり・親切	
学 級	附属小学校4年A組 40名	授業日時	2011年10月26日 第3校時	
No.	基本発問および児童の反応		類型	つながり
1	○「さ」がうまく言えないから七夕さまがきらいだという花子さんをどう思いますか。 ・おかしい。普通は願いがかなったら、いいことがあるから。		VII	
2	・おかしいというか、何か七夕さまっていうのは自分の願い事を聞いてくれるから、花子さんの“さ”が言えないっていうのを願い事を書いたら、かなうチャンスやのにそのチャンスを逃してしまおうとした最初の花子さんは、Sくんが言ったようにちょっとおかしい。		VII	
3	・花子さんは、“さ”が上手に言えますようにって書こうと思っているけど、友だちに笑われるのがいやだから、恥ずかしいんだと思う。		III	
4	・私たちにっては、七夕さまが好きなのもいるし、普通あんまり好きではない人もいると思うけど、花子さんは何で嫌いなんだろうって思います。		VII	
5	・ぼくは、かわいそうだと思います。		VII	
6	・せっかく願い事がかなうけど、かなうかもしれないけど、恥ずかしいから願い事を書けないから、かなわなくて終わるがやったらかわいそう。		VII	
7	・七夕さまというのは、年に一度のめったにないチャンスだから、それをこのちょっとの恥ずかしさで終わらせるのはもったいない気がする。		VII	
	○みんなに見られると恥ずかしいと思って、自分の願いを素直に書けなかった花子さんをどう思いますか。			
8	・かわいそう。“さ”の発音、それだけしか願い事がないから。		VII	
9	・ぼくはいいと思う。花子さんは七夕が大嫌いだから、そんなにかわいそうとは思わん。		VII	
10	・短冊に願い事を書かないといけないけど、自分がほんとにかなえたい願い事を書けないから。		VII	
11	・ぼくもいいと思います。わけは、花子さんは七夕が嫌いで無理に書かなくてもいいと思うから。		VII	
12	・私はいいんじゃないかっていう意見に反対して、書こうという勇気があるんだったら、そのままほっとくより頑張って書いた方が逆にいいことがあるし、別にいいんじゃないかって思う花子さんだったら、ずうっと願い事がかなわず友だちともうまくやれないし、いいんじゃないかっていうより頑張って書きなさいっていうか、頑張ってるっていう気持ち。		VII	
13	・何か自分の気持ちに負けている感じになっているから、頑張って書いた方がいいと思う。		VII	
14	・花子さんは別に書きたくないとかじゃなくて、書きたいと思ってるから、いいんじゃないかとは思いますが。		VII	
15	・Tちゃんが言ったように、書きたいんだったら頑張って書いた方が…。書きたいって思うがやったら、書いた方が絶対いい。		VII	
16	・ぼくもいいんじゃないかには反対で、花子さんは書く勇気がなくて、そのままいいんじゃないかだったら、一生たぶんそのままになって、そのまま弱っつい花子さんになってしまう。		VII	

No.	基本発問および児童の反応	類型	つながり
17	・私はMさんに反対意見で、もし書いてその願い事を笑われたら、その後よけいに“さ”が言いにくかったりしてしまうんじゃないかなと思います。	VII	
18	・私もMちゃんに……。書かない方が、見つかった時に笑われないと思うけど、書かんかったら一言言えないままになるから、書いて、願い事を七夕の紙に書いた方がいいと思います。	VII	
19	・書いて笑われるやったら、書かない方がまだまし。	VII	
20	・書きたいと思ってるんなら書いて、笑われても無視しとったらいい。	VII	
21	・願いがかなわないのに、恥をかく方がまだましと。	VII	
22	・あの、書いたとしても絶対にかなうってわけちゃうから、もう書かずに家で自分で練習すればいい。誰も見てないところで。	VII	
23	・私は願い事を書いた方がいいと思います。それは、願い事を書いて友だちに正直に話したら、みんなも手伝って、応援してくれると思います。	VII	
○幸子さんや二郎くんのしてくれたことを、花子さんはどう思ったのでしょうか。			
24	・今にも大声で泣きそうになった。	I	
25	・みんなが優しくしてくれたから。	III	
26	・友だちがまさかこんなことをしてくれるとは思わなくて、感動したんだと思います。	II	
27	・幸子さんと二郎くんが書いてくれたから、花子さんは自信をもって書ける。	III	
28	・幸子さんとか二郎くんが笑わないで書いてくれたから、うれしい。	III	
29	・自分が書けなかったことを、友だちが書いてくれたから泣きそうになったと思います。	III	
30	・自分が書こうと思っていたことを友だちが書いてくれたからびっくりした。	III	
○こんなことを思った花子さんをどう思いますか。			
31	・優しくしてくれてよかったと思います。	VII	
32	・自分の思っていることを幸子さんや二郎くんが分かってくれて、それを書いてくれたからすごくうれしかったと思う。	III	
33	・この中に自信をもてたって書いているから、花子さんは成長したと思う。	VII	
34	・花子さんは最初友だちに笑われると思っていたけど、笑われなかったから自分が思っていた友だちと違う。	III	
35	・自分が書こうと思ったことを友だちが書いたから、恥ずかしい。	III	
◎どうして花子さんは、大声で「ありがとう」と言えたのだろう。			
36	・みんなが分かってくれて、最初はみんなに笑われないかとかちょっと恥ずかしかったけど、恥ずかしくなくなった。	II	
37	・みんなは優しいなと思った。	I	
38	・みんなが応援してくれた。	I	
39	・花子さんが大きな声でありがとうと言えたのは、みんなに優しくしてもらったから、その一つの願いというか、二郎くんがやった大きな声で本を読めますよっていう願い事と近いから、だから頑張って大きな声で言ったらみんな喜んでくれるというか、応援してくれたからすごい大きな声でありがとうって言えた。	III	
40	・花子さんは、自分の気持ち、ずうっと思ってた気持ちをみんながいろいろ書いてくれたりしたから、感謝、感動して、みんなありがとうっていうことで、大きな声で言えた。	III	
41	・花子さんは、まさか友だちがこんなに思っていてくれるとは思わなかったからびっくりしたんだと思います。	III	